



## I P オーディオ設定ソフトウェア

---

型名 **TZ-PNAP150**

v1.0 設置説明書

お買い上げありがとうございます。  
ご使用前にこの「設置説明書」をお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。  
ソフトウェアの操作方法等については「取扱説明書」をお読みください。  
お読みになったあとは大切に保管し、必要なときにお読みください。

## この設置説明書の見かた

### ■本文中の記号の見かた

ご注意 操作上の注意が書かれています。

メモ 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

用語 本文中で使用されている用語の説明が書かれています。

### ■本書の記載内容について

●本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。

●本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では™、®、©などのマークは省略してあります。

●本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

●Windows、Internet Explorer は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

# もくじ

もくじ .....	3
安全上のご注意 .....	4
正しくお使いいただくためのご注意 .....	8
ソフトウェア使用許諾契約書 .....	9
1. TZ-PNAP150 の概要 .....	11
1.1 使用する環境 .....	12
1.1.1 制御できる機器 .....	12
1.1.2 PC の動作環境 .....	12
1.2 システム構成 .....	13
2. 機器の接続と設定 .....	15
2.1 IPオーディオユニットの設置と接続 .....	16
2.1.1 ユニット番号の設定 .....	16
2.1.2 入出力端子の接続 .....	16
2.1.3 起動入出力端子の接続 .....	17
2.2 IPオーディオの設定 .....	18
2.2.1 放送モードの設定 .....	18
2.2.2 入出力ユニット数の設定 .....	18
2.2.3 起動入出力モードの設定 .....	18
2.3 ソフトウェアのインストール .....	19
3. こんなときは .....	21
3.1 エラー表示一覧 .....	22
3.2 ログファイルの確認 .....	24

## 安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

### 絵表示について

この設置説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

**警告** この表示（文字含む）を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

**注意** この表示（文字含む）を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています

#### 絵表示の説明

●注意（警告を含む）が必要なことを示す記号



一般的注意



感電注意



禁止



水場での使用禁止



ぬれ手禁止



電源プラグを抜く



一般的指示



アース線を必ず接続せよ



手や腕の挟み込みに注意



接触禁止



分解禁止



水ぬれ禁止

### 警告

#### 異常が発生したとき

万一、次のような異常が発生したときは、そのまま使用しない

火災や感電の原因となります。

- ・煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常のとき。
- ・画面が映らない、音が出ないなどの故障のとき。
- ・内部に水や物が入ってしまったとき。
- ・落としたり、キャビネットが破損したとき。
- ・電源コードが傷んだとき。（芯線の露出、断線など）



このようなときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出ているときは、止まったのを確かめてから販売店に修理を依頼してください。お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。

#### 設置について

不安定な場所に置かない

ぐらついている台の上や傾いたところに置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがをする原因となります。



水のある場所で使わない

機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。



## 警告

### 設置について

#### 次のような場所に置かない

火災や感電の原因となることがあります。

- ・湿気やほこりの多いところ
- ・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる場所
- ・熱器具の近くなど
- ・窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たって温度が上がるところ
- ・窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ



#### 機器の上に重い物を置かない

重い物や本体からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり落ちたりして、けがの原因となることがあります。



#### 機器を重ねて使用しない

お互いの熱やノイズの影響で誤動作したり故障したり、火災の原因となることがあります。



#### 設置は専門業者に依頼する

天井や壁面への設置工事は、専門的な知識や技術が必要になります。正しく設置されないと、落下したりして、けがや事故の原因になります。



### 電源や電源コードについて

#### 表示された電源電圧以外で使用しない

火災や感電の原因となります。



#### 雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない

感電の原因となります。



### 電源や電源コードについて

#### 電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- ・電源コードを加工しない。
- ・無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
- ・電源コードの上に機器本体や重いものをのせない。
- ・電源コードを熱器具に近づけない。



#### 電源プラグやコンセントにほこりや金属が付着したまま使用しない

ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。半年に一度はプラグを抜いて乾いた布でふいてください。



### 取り扱いについて

機器の上や周辺に水の入ったもの（ペットボトル、花瓶、コップ、化粧品、薬品など）を置かない  
機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。



#### 内部に物を入れない

隙間や通風孔などから、金属類や燃えやすいものなどを入れたり、端子間を金属類でショートさせたりしないでください。火災や感電の原因となります。



#### 機器を分解したり、改造したりしない

内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店に依頼してください。



## ⚠️ 注意

### 設置について

#### 次のような場所に置かない

誤動作や故障の原因となります。

- ・許容動作温度 (0 °C ~ 40 °C) 範囲外の暑いところや寒いところ
- ・許容動作湿度 (20% RH ~ 80% RH) 範囲外の湿気の多いところ (結露なきこと)
- ・変圧器やモーターなど強い磁気を発生するところ
- ・トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近く
- ・ほこりや砂の多いところ
- ・振動の激しいところ
- ・窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
- ・厨房など蒸気や油分の多いところ
- ・放射線やX線、および塩害や腐食性ガスの発生するところ
- ・プールなど、薬剤を使用するところ



各機器を接続する場合は、説明書に従って接続する各機器の取扱説明書をよく読み、取扱説明書に従って接続してください。

取扱説明書に従わない場合、故障や感電、けがの原因になることがあります。



機器間の接続線に足などを引っかけないように注意する

つまずいてけがの原因になることがあります。



取り付けねじやナットで締め付ける箇所がある機器は、締め付けを確実にを行う

締め付けが不十分だと落下、けがの原因になることがあります。適切なサイズ、数量で確実に締め付けてください。また、1年に一度は取付ねじに緩みや破損がないか、点検を行ってください。



天井や壁面などに取り付ける機器は、機器をしっかりと手で押さえ、落とさないように注意する

けがや機器の故障の原因となります。



取り付けのロック機構がある機器は、しっかりとロックする

取り付ける前にロック機構に破損がないこと、取り付け後にしっかりとロックされていることを確認してください。ロックが十分でないと落下、けがや事故の原因になることがあります。



### 電源や電源コードについて

電源プラグはコードの部分を持って抜かない

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。プラグの部分を持って抜いてください。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。



移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずす

接続したまま移動すると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。



電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しない

発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。



電源コードは、機器に付属のもの以外を使用しない

また、付属の電源コードは機器専用のため付属している機器以外では使用しない

必ず本機に付属のものをご使用ください。仕様の異なるコードを使用すると、火災や感電の原因になります。



電源プラグが容易に抜き差しできる空間を設ける

電源スイッチを切っただけでは、機器は電源から完全に遮断されません。完全に遮断するには、電源プラグを抜いてください。

機器はコンセントに容易に手が届く位置に設置し、異常が起きた場合すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。



すべての機器の接続が終わってから電源プラグをコンセントに挿す

感電や故障の原因となることがあります。



## ⚠️ 注意

### 取り扱いについて

#### この機器の上に乗らない、ぶら下らない

倒れたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。特に小さいお子様のいる場所では注意してください。



#### 機器を投げない

この機器を投げてぶつかけたり、落としたりしないでください。

機器に強い衝撃を与えると故障の原因となります。



#### 長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。



#### 包装箱や梱包袋などは、小さなお子様の手の届くところに置かない

遊びに使ったりすると、けがや窒息の原因となることがあります。梱包箱・梱包袋は、施工後に回収してください。



### お手入れについて

#### 2~3年に一度は内部の掃除を販売店に依頼する

内部にほこりがたまったらそのまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。



#### お手入れするときは電源プラグを抜く

感電の原因となることがあります。



#### 機器は柔らかい布でふく

シンナーやベンジンでふくと、表面がとけたり、くもったりします。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を布につけてふき、あとでからぶきしてください。



### 音声・スピーカーについて

#### 使用を終えるときは、電源を切る前に音量を下げる（電子式ボリュームの場合）

音量が上がっていると、電源を入れたとき突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



#### ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



#### 長時間、音がひずんだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



## 正しくお使いいただくためのご注意

- 本ソフトウェアの仕様は、改善のため予告なく変更することがあります。
- DPI スケール設定値（画面上の文字などのサイズを設定する値：既定は 100%）が 100%以外に設定されている場合、アプリケーションの画面レイアウトがくずれる場合があります。次の手順で DPI スケール設定を変更し、問題が改善するかご確認ください。

**1 デスクトップ画面上で右クリックメニューを開き、[ディスプレイ設定] を選択する**

**2 [ディスプレイ] を選択する**

**3 [拡大縮小とレイアウト] の [テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する] の設定を 100%に設定する**



# ソフトウェア使用許諾契約書

TZ-PNAP150 をインストールする前に、必ずお読みください。

## 〔ソフトウェア使用許諾契約書〕

株式会社 JVC ケンウッド・公共産業システム（以下「弊社」といいます）は、I P オーディオ設定ソフトウェア [TZ-PNAP150]（以下、「本ソフトウェア」といいます）を使用する権利を下記の条件で許諾します。

### 1. 著作権

本ソフトウェアに関する著作権等の知的財産権は、弊社に帰属し又は第三者から正当なライセンスを得たものであり、本ソフトウェアは、日本およびその他の国の著作権法ならびに関連する条約によって保護されています。

### 2. 権利の許諾

- (1) お客様は、本契約の条項にしたがって本ソフトウェアを使用する非独占的な権利を本契約に基づき取得します。お客様は、お客様の PC1 台に搭載された HDD その他の記憶装置に本ソフトウェアをインストールし、使用することができます。
- (2) お客様は、本ソフトウェアをバックアップまたは保存の目的において複製することができます。

### 3. 制限事項

- (1) お客様は、いかなる方法によっても、本ソフトウェアの改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルをすることはできません。ただし、適法と認められる場合はこの限りではありません。
- (2) お客様は、本契約書に明示的に許諾されている場合を除いて、本ソフトウェアを全部または一部であるかを問わず、使用、複製することはできません。
- (3) お客様には本ソフトウェアを使用許諾する権利はなく、またお客様は本ソフトウェアを第三者に販売、貸与またはリースすることはできません。

### 4. 限定保証

本ソフトウェアは、一切の保証なく、現状で提供されるものであり、弊社はその商品性、特定用途への適合性をはじめ、明示的にも黙示的にも本ソフトウェアに関して一切保証しません。本ソフトウェアに関して発生するいかなる問題も、お客様の責任および費用負担により解決されるものとします。

### 5. 責任の制限

弊社は、本契約その他いかなる場合においても、結果的、付随的あるいは懲罰的損害（損害発生につき弊社が予見し、または予見し得た場合を含みます）について、一切責任を負いません。お客様は、本ソフトウェアの使用に関連して第三者からお客様になされた請求に関連する損害、損失あるいは責任より弊社を免責し、保証するものとします。

### 6. 契約期間

本契約は、お客様が本ソフトウェアをお客様のハードウェアにインストールされた日を以て発効し、次によって終了されない限り有効に存続するものとします。

お客様が本契約のいずれかの条項に違反したときは、弊社は、お客様に対し何らの通知、催告を行うことなく直ちに本契約を終了させることができます。その場合、弊社は、お客様の違反によって被った損害をお客様に請求することができます。

## はじめに

---

なお、本契約が終了したときには、お客様は直ちにお客様のハードウェアに保存されている本ソフトウェアを破棄（お客様のPC上のメモリーからの消去を含みます）するものとします。

### 7. 輸出管理

お客様は、本ソフトウェアあるいはそれに含まれる情報・技術を日本ならびにその他の関係国が出荷等を禁止ないし制限している国に出荷、移転または輸出しないことに同意します。

### 8. その他

- (1) 弊社の正当な代表者が署名した書面による場合を除き、本契約のいかなる修正、変更、追加、削除その他改変も無効とします。
- (2) 本契約のいずれかの規定が日本国の法律で無効とされた場合も、残りの規定は依然有効とします。
- (3) 本契約は日本国法を準拠法とします。本契約に関連または起因する紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所としてこれを解決するものとします。

---

## 1. TZ-PNAP150 の概要

---

この章では、TZ-PNAP150 の機能や使用する環境について説明します。

### 1.1 使用する環境

#### 1.1.1 制御できる機器

制御できる機器を次に示します。

機器名称	型式	発売メーカー
IP オーディオユニット	PN-AP150	JVC ケンウッド・公共産業システム

#### 1.1.2 PC の動作環境

操作用のパソコン（以下“操作 PC”と呼ぶ）が必要とする動作環境を次に示します。

項目	仕様・機能	備考
OS	Windows 10 Pro 64bit	
CPU	Intel Core i5 プロセッサ以上	
メモリ	8GB 以上	
HDD	空き容量 250GB 以上	
グラフィック	フル HD (1,920×1,080)	
ネットワーク	100BASE-TX 以上	
ディスプレイ	フル HD (1,920×1,080)	

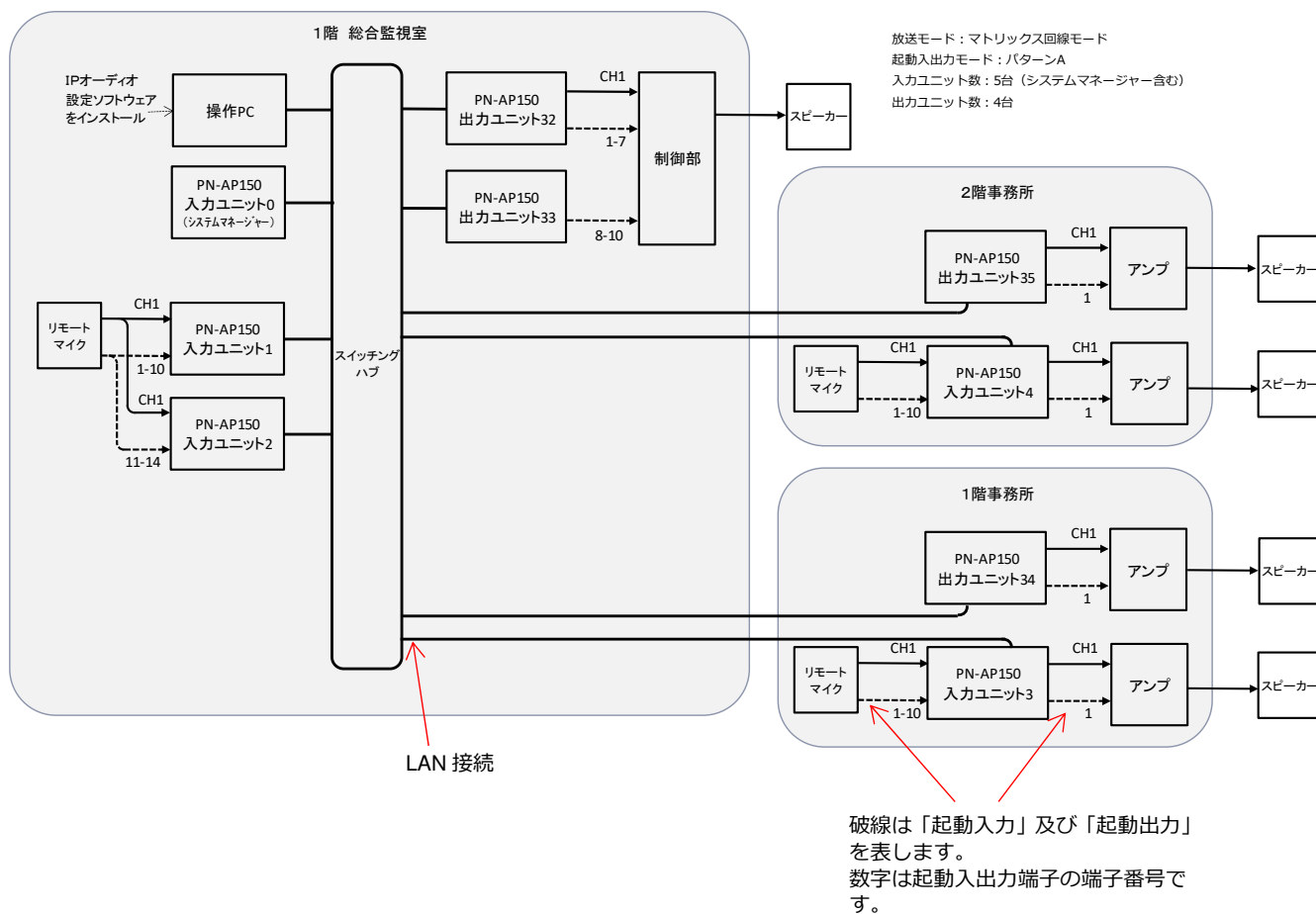
## 1.2 システム構成

TZ-PNAP150 は、IP オーディオユニット PN-AP150 を多数使用した放送システムにおいて、放送エリアの設定や変更を容易にするためのソフトウェアです。TZ-PNAP150 を使用したシステム構成の一例を次に示します。

### ご注意

- ・ IP オーディオユニットは、PN-AP150 の使用を前提としています。PN-AP100 は使用しないでください。

TZ-PNAP150 は、操作 PC にインストールして使用します。操作 PC と各 IP オーディオユニットは LAN 接続します。





---

## 2. 機器の接続と設定

---

この章では、操作 PC や IP オーディオユニットの接続と設定について説明します。

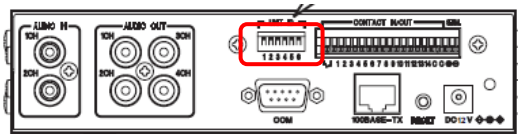
### 2.1 IPオーディオユニットの設置と接続

IPオーディオユニットのユニット番号を設定し、入出力端子にリモートマイク、スピーカーを接続します。

IPオーディオユニットの設定メニューへの入り方や設定方法の詳細については、PN-AP150 の取扱説明書をご確認ください。

#### 2.1.1 ユニット番号の設定

リモートマイクを接続するユニットを“入力ユニット”（ユニット番号 0~31）、スピーカーを接続するユニットを“出力ユニット”（ユニット番号 32~63）に設定します。



#### 2.1.2 入出力端子の接続

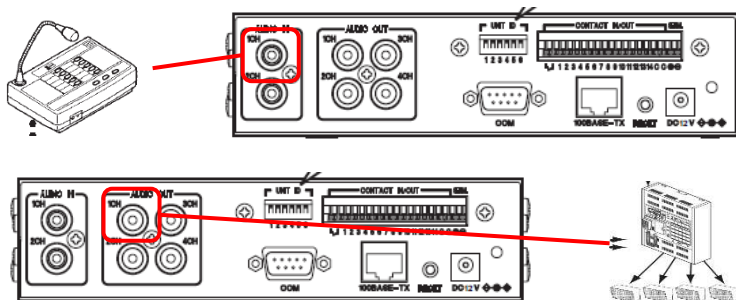
リモートマイクの音声出力を入力ユニットの音声入力端子に、スピーカーの音声入力を出力ユニットの音声出力端子に接続します。

リモートマイクは入力ユニットに2つまで、スピーカーは出力ユニットに4つまで接続できます。

※リモートマイクを出力ユニットに接続することもできます。その場合、接続できる音声入力端子は1つになります。

※スピーカーを入力ユニットに接続することもできます。その場合、接続できる音声出力端子は1つになります。

※入力ユニット数、出力ユニット数の何れかが8を超える場合、システムマネージャの音声入出力端子は使用できません。





### 2.1.3 起動入出力端子の接続

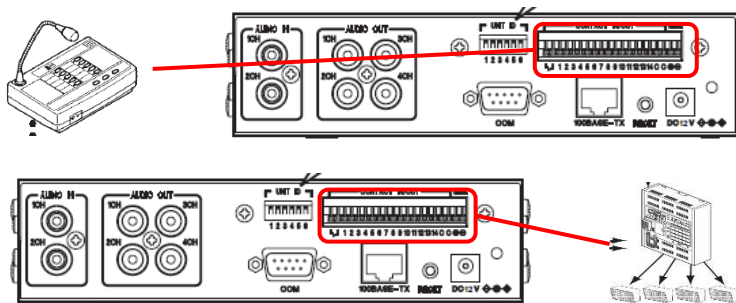
リモートマイクの制御出力端子を入力ユニットの起動入力端子に、スピーカーの制御入力端子を出力ユニットの起動出力端子に接続します。

※使用できる起動入出力端子の数は“起動入出力モード”により異なります。

※起動出力端子が足りない場合は複数のユニットを使用することもできます。

※入力ユニット数、出力ユニット数の何れかが8を超える場合、システムマネージャの起動入出力端子は使用できません。

※起動入力端子は接続したマイク専用です。音声入力端子に接続したリモートマイクのみ接続してください。



### 2.2 I Pオーディオの設定

I Pオーディオユニットの設定メニュー画面で設定を行います。

I Pオーディオユニットの設定メニューへの入り方は、PN-AP150 の取扱説明書をご確認ください。

#### ご注意

---

- ・操作 PC 側で設定した項目については、操作 PC によって上書きされます。
- 

#### 2.2.1 放送モードの設定

[システム情報] - [放送モード]で“マトリックス回線モード”を選びます

#### 2.2.2 入出力ユニット数の設定

[システム情報] - [入力ユニット数]で設定します。設置した入力ユニットの数を選択します。

[システム情報] - [出力ユニット数]で設定します。設置した出力ユニットの数を選択します。

#### 2.2.3 起動入出力モードの設定

[システム情報] - [起動入出力モード]で設定します。使用する起動入出力端子に相応するパターンを選択します。

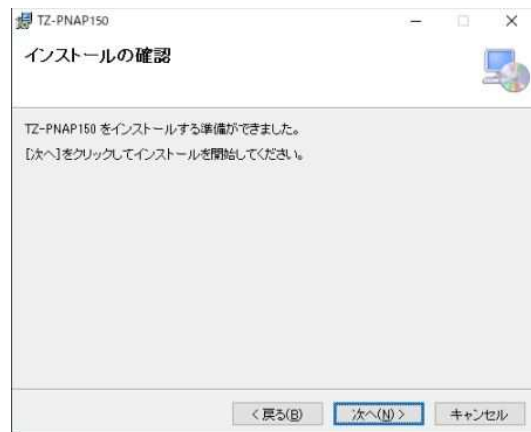
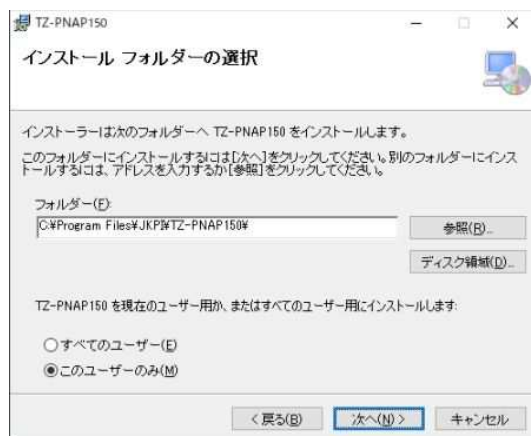
## 2.3 ソフトウェアのインストール

### ご注意

- ・インストールする前に、9 ページの「ソフトウェア使用許諾契約書」をご確認ください。

管理者権限で setup.exe をダブルクリックします。

インストーラの指示に従いインストールを完了します。





---

## 3. こんなときは

---

この章では、トラブルシューティングなどの知っておいていただきたい事項を説明します。

### 3 こんなときは

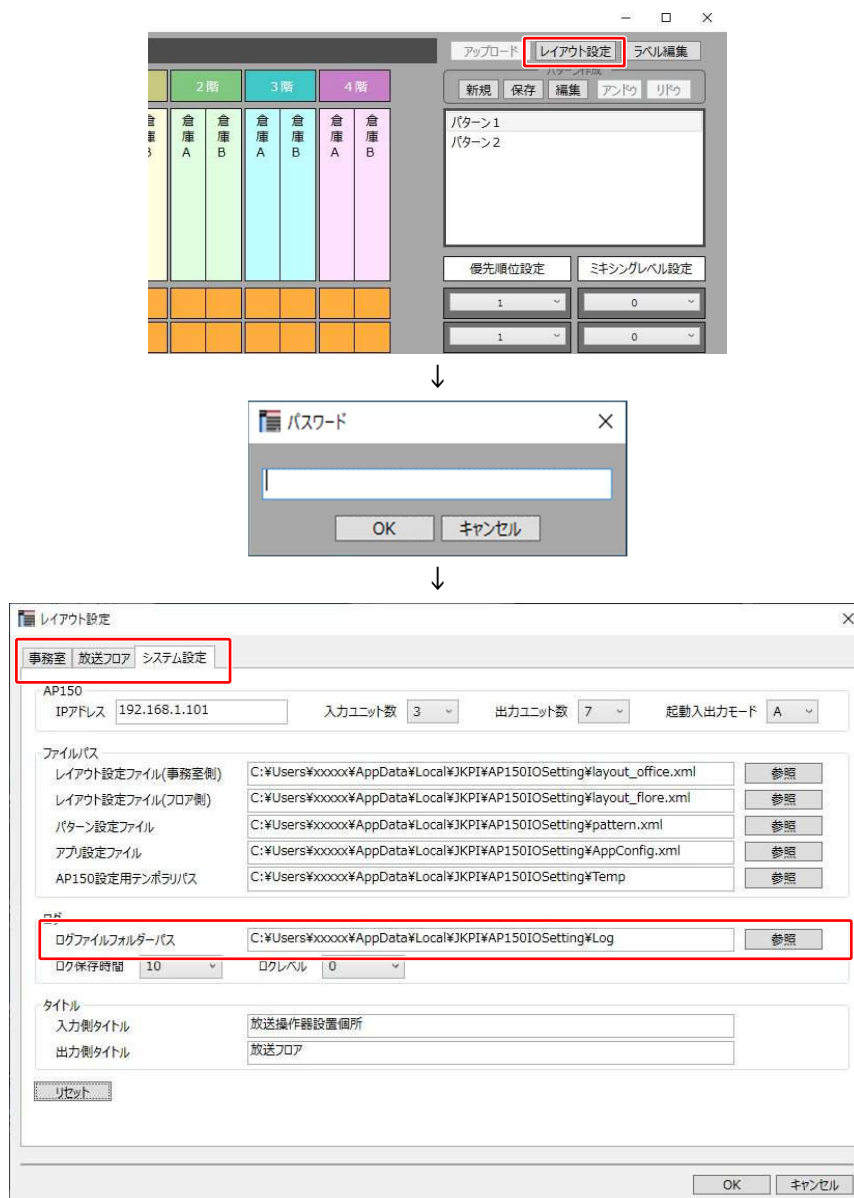
## 3.1 エラー表示一覧

メッセージ	ボタン	確認
「システム設定ファイル」を読み出できませんでした。設定ファイルを初期化しますか？	OK/ キャンセル	システム設定のパスの設定が正しいか確認してください。
「事務室設定ファイル」を読み出できませんでした。設定ファイルを初期化しますか？	OK/ キャンセル	[OK]を押すとデフォルトのファイルを生成します。
「放送フロア設定ファイル」を読み出できませんでした。設定ファイルを初期化しますか？	OK/ キャンセル	(各種設定ファイルは、デフォルトでは C:\ProgramData\JKPI\TZ-PNAP150\Setting Files の下にあります)
「パターン設定ファイル」を読み出できませんでした。設定ファイルを初期化しますか？	OK/ キャンセル	システム設定のパスの設定が正しいか確認してください。
「アプリ構成ファイル」を読み出できませんでした。設定ファイルを初期化しますか？	OK/ キャンセル	[OK]を押すとデフォルトのファイルを生成します。 (ファイルは、デフォルトでは C:\Users\ユーザー 名\AppData\Local\JKPI\TZ-PNAP150\Setting Files の下にあります)
「システム設定ファイル」を保存できませんでした。ファイルが書き込み可能か確認してください。	OK	システム設定のパスの設定が正しいか確認してください。
「事務室設定ファイル」を保存できませんでした。ファイルが書き込み可能か確認してください。	OK	各種設定ファイルが書き込み可能か確認してください。
「放送フロア設定ファイル」を保存できませんでした。ファイルが書き込み可能か確認してください。	OK	(各種設定ファイルは、デフォルトでは C:\ProgramData\JKPI\TZ-PNAP150\Setting Files の下にあります)
「パターン設定ファイル」を保存できませんでした。ファイルが書き込み可能か確認してください。	OK	システム設定のパスの設定が正しいか確認してください。
「アプリ構成ファイル」を保存できませんでした。ファイルが書き込み可能か確認してください。	OK	ファイルが書き込み可能か確認してください。 (ファイルは、デフォルトでは C:\Users\ユーザー 名\AppData\Local\JKPI\TZ-PNAP150\Setting Files の下にあります)
AP150 の「入力ユニット数」または「出力ユニット数」が8を超えているため、システムマネージャは専用機になります。設定ファイルを最適化しますか？	OK/ キャンセル	レイアウト設定でシステムマネージャを出入力ユニットとして指定できなくなります。 システムマネージャに関連する設定値は失われます。
AP150 の「入力ユニット数」が前回の設定時と異なります。設定ファイルを最適化しますか？	OK/ キャンセル	使用しなくなった入力ユニットに関連する設定値は失われます。
AP150 の「出力ユニット数」が前回の設定時と異なります。設定ファイルを最適化しますか？	OK/ キャンセル	使用しなくなった出力ユニットに関連する設定値は失われます。
AP150 の「起動入出力モード」が前回の設定時と異なります。設定ファイルを最適化しますか？	OK/ キャンセル	使用できなくなった起動入出力端子に関連する設定値は失われます。
AP150 の「放送モード」が“マトリックス回線モード”ではありません。AP150 を“マトリックス回線モード”に設定してください。	OK	AP150 の「放送モード」を変更してください。

AP150 のデータのダウンロードに失敗しました。スタンドアロンモードで起動します。	OK	システム設定の IP アドレスの設定が正しいか確認してください。 AP150 の電源や LAN 接続の状態を確認してください。 設定およびパターンの作成のみ行う場合はそのままお使いください。
AP150 のデータの展開に失敗しました。スタンドアロンモードで起動します。	OK	システム設定のパスの設定が正しいか確認してください。 「テンポラリフォルダ」の状態を確認してください。 (フォルダは、デフォルトでは C:\ProgramData\JKPI\TZ-PNAP150\Temp にあります。) 設定およびパターンの作成のみ行う場合はそのままお使いください。
AP150 のデータのアップロードに失敗しました。AP150 とのネットワークの接続を確認してください。	OK	システム設定の IP アドレスの設定が正しいか確認してください。 AP150 の電源や LAN 接続の状態を確認してください。
AP150 のデータの圧縮に失敗しました。テンポラリフォルダが書込み可能か確認してください。	OK	システム設定のパスの設定が正しいか確認してください。 「テンポラリフォルダ」の状態を確認してください。 (フォルダは、デフォルトでは C:\ProgramData\JKPI\TZ-PNAP150\Temp にあります。)

## 3.2 ログファイルの確認

操作ログは [C:¥Users¥(ユーザー名)¥AppData¥Local¥JKPI¥TZ-PNAP150¥Log] フォルダ内に作成されます (デフォルト時)。フォルダパスの設定が変更されている場合は、[レイアウト設定] ボタンを押して「システム設定」タブを選択し、「ログファイルフォルダパス」に設定されているフォルダ名を確認してください。







**JVCケンウッド  
カスタマーサポートセンター**

固定電話  0120-2727-87

携帯電話・PHS  0570-010-114

一部のIP電話など 045-450-8950

FAX 045-450-2308

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

**株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム**

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

ホームページ <https://jkpi.jvckenwood.com/>